

家畜衛生だより

No. 171 平成22年1月発行

上越家畜保健衛生所

〒943-8551

上越市本城町 5-6

TEL (025)526-9441 FAX 522-1724

E-mail ngt066060@pref.niigata.lg.jp

… あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。…

韓国で口蹄疫が発生！

～ 韓国から豚肉製品の輸入停止～

平成22年1月7日、韓国、ソウル近郊、抱川（ポチョン）の酪農家1戸（185頭飼養）で乳牛6頭に口蹄疫が発生しました。つきましては下記のことにご留意してください。

口蹄疫は、人には感染しません。牛、豚などの偶蹄類が感染します。感染して死亡するものは少ないのですが、空気感染することから極めて感染力が強く、口や蹄に水疱ができることが特徴ですが、乳牛では泌乳停止、食欲廃絶など、豚では元気消失、蹄の剥離、発育遅延などがみられ、経済的な損失が甚大となる海外悪性伝染病のひとつです。

留意事項

- ・ 韓国の畜産農家への訪問は控えてください。
- ・ 病気の侵入防止など飼養管理衛生を徹底してください。
- ・ 口蹄疫を疑う症状（口腔、舌、蹄などの水疱）を確認した場合、直ちに家畜保健衛生所に通報してください。

高病原性鳥インフルエンザ対策を万全に！

昨年国内では、愛知県のうずらで高病原性鳥インフルエンザウイルス（H7N3）による発生がありました。昨年12月末には香港で野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1）が検出され、さらに韓国でも、弱毒タイプではありますが高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N2）がアヒルから検出されています。

この冬国内での発生は報告されておりませんが、常に警戒が必要な状況には変わりありません。

養鶏場においては、野鳥や野生動物の侵入防止をはじめとした防疫対策の徹底の継続と異常発見時の早期通報をお願いします。

管内3戸が新たに認定農場に！

～平成21年度畜産安心ブランド生産農場の認定状況～

県では、より安全・安心な畜産物を県民に提供するために畜産農場へのHACCP方式による衛生管理手法の導入を促進し、農場の衛生水準の向上を図ることを目的として、基準に適合した農場を農場からの申請に基づき新潟県畜産協会が行う「安心農場」としての認定に向けて取り組んでいます。

本年度の認定委員会が平成21年12月22日新潟市で開催され、新規申請のクリーンミルク11戸、クリーンビーフ17戸、クリーンポーク4戸、クリーンチキン1戸、計33戸が新規に認定されました。また、今回更新の60戸もすべて認定され、これまでの認定を含め全県で226農場となり県内飼養戸数に占める割合は30.6%に達しました。

上越管内では新たに肉用牛3戸が認定されました。これにより、上越管内では全畜種合わせて14戸が認定農場となりました。

認定農場のみなさんには今後も衛生基準の遵守と飼養管理技術の向上をお願いします。

上越子牛共進会・子牛市場開催される

平成21年12月7日(月)に上越市子牛市場で子牛共進会及び市場が開催されました。市場上場頭数は160頭で平均価格は去勢403千円、雌298千円、最高価格は去勢555千円、雌621千円でした。血統に加え発育の良いものが高傾向でした。

子牛共進会成績(出品者)

去勢の部：最優秀賞 今井昌一(上越市)、優秀賞 小見征雄(十日町市)、

優秀賞 折笠健一(上越市)

雌の部：最優秀賞 高橋勝美(十日町市)、優秀賞、村山幸夫(十日町市)

・家畜保健衛生業績発表会が開催されました。・

平成22年1月8日に県庁で平成21年度新潟県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。発表会では、畜産の現況に即して家畜保健衛生所が日頃実施している事業、調査等の成績について19題(上越家保から2題)の発表がありました。次の3題が2月17日東京都で開催される関東甲信越ブロック業績発表会での発表演題に選ばれました。

ビデオを活用したワークショップによる搾乳衛生改善指導

(下越家畜保健衛生所)

共同隔離牛舎設置による伝染性疾病拡大防止の取り組み

(中央家畜保健衛生所佐渡支所)

ヨーネ病抗体非特異反応が疑われた農場における防疫対応

(下越家畜保健衛生所)

